

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	延べ宿泊者数 観光入込客数	作成日	R7.4.1
組織名(部)	観光・国際交流部	組織名 (準部・課・機関名)	観光政策課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	外国人観光客の増加が見込まれる新潟駅から佐渡汽船間の歩道に、外国人観光客でも分かりやすい案内表示を整備し、ストレスなく移動、散策できる環境づくりに努めます。	政策10-1-①	新潟駅から佐渡汽船間の歩道に案内表示を整備	案内表示を整備し、効果検証を行う。	矢羽根型案内サイン5基 路面案内サイン151ヶ所	外国人向け案内表示整備事業	新潟駅から佐渡汽船間の歩道に、矢羽根型誘導サイン及び路面表示を整備後、その効果を検証し、受入態勢の強化に努めます。	○	当初計画していた新潟駅から佐渡汽船間のほか、万代、古町、白山エリアに矢羽根型案内サイン5基、路面案内サイン151ヶ所を整備し、受入態勢の強化を図りました。	万代、古町、白山エリアに矢羽根型案内サインを整備します。 新年度速やかに効果検証を行います。
2	食と酒、みなとまち文化、各区の地域資源、古町芸妓、マンガ・アニメ、スポーツなど、新潟市の個性・魅力を最大限に活用し、誘客を促進するとともに、来訪者の満足度向上、リピート・消費意欲の向上につなげます。	政策10-1-②	公式観光ホームページの年間訪問数(アクティブユーザー数)	1,009,862件以上 (令和6年度を上回るアクセス数)	1,100,262件 (3.31現在)	・観光資源・観光イベントの充実	・新潟まつりやにいがた総おどり、酒の陣など、本市の魅力発信や交流人口の拡大に資する観光イベントの開催を支援します。	○	前年比109% 特集記事を継続掲載することにより、ユーザー数が増加した。	令和8年度からホームページがリニューアルされ、閲覧しやすい環境が整備されます。
			新潟観光コンベンション協会SNSフォロワー数	instagram(日本語、英語)やfacebook(日本語、英語)のフォロワー数 21,131件以上 (令和6年度を上回るフォロワー数)	23,697件 (3.31現在)	・新潟観光コンベンション協会と連携した誘客促進	・「新潟観光コンベンション協会」と連携し、本市の魅力発信をはじめ、誘客セールス、MIC E誘致などの活動を展開し交流人口の拡大につなげます。 ・様々なメディアを活用し、ターゲットを意識した効果的な情報発信を行い、本市へのさらなる誘客につなげます。		前年比112% 各種イベント等でインスタフォロワーキャンペーンを実施し、フォロワーの増加を図った。	様々なSNS媒体を活用しながら、ターゲットを意識した情報発信とコンテンツの充実を図っていきます。
3	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備やテレワークの導入などを進めます。	行財1-4-②	新潟清酒を活用した誘客推進するための事業の実施	酒蔵巡りバスツアー、市内酒蔵と地元料理のペアリング事業の創出、酒に関するガイドブックの作成	イベント9回 1402人(内県外157名) バスツアー4回 酒のガイドブック「酒都新潟市」を日本語版6万部、英語版1万部を作成	・新潟清酒を活用した誘客推進事業	・新潟清酒に関するイベント等の開催や、ガイドブックを作成するなど本市の魅力に触れてもらえる機会を創出し、誘客の促進につなげます。	○	新潟清酒イベント「酒とごちそう～酒都物語～」を市内8ヶ所全9回行い、1402人(内県外157名)が参加しました。併せてバスツアーを4回開催し、12人(内県外5人)の参加がありました。 酒のガイドブック「酒都新潟市」を日本語版6万部、英語版1万部を作成し、各ホテルや観光施設等に配布し、酒の陣などのイベントにおいても配布を行いました。	新潟清酒及び酒蔵を活用した県外からの誘客イベントやツアー等の支援を行います。 酒のガイドブック「酒都新潟市」を日本語版3万部、英語版5千部を増刷します。
			年次有給休暇取得日数	14.0日	14.1日	年次有給休暇の取得日数の向上	ワークライフバランスを推進するため、有給休暇の取得について、積極的に呼びかけを行い、職員の健康管理に努めます。		朝礼やメールで定時退庁の周知を行うとともに、有給休暇の取得状況を確認し、取得の少ない職員へ声掛けを行いました。	ワークライフバランスを推進するため、朝礼やメールで職員への周知を行うとともに、有給休暇の取得状況を確認し、取得の少ない職員へ声掛けを行っていきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・延べ宿泊者数 ・観光入込客数	作成日 R7.5.31
組織名(部)	観光・国際交流部	組織名 (準部・課・機関名)	観光推進課			評価日 R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)			
1	国際港・国際空港や高速道路、新幹線といった高速交通ネットワークを有する拠点性を活かし、ハイレベルな国際会合・スポーツ大会等を含むMICE誘致、および佐渡市や会津若松市をはじめとする県内外の自治体との広域連携により、誘客を促進します。	政策10-1-②	佐渡・新潟周遊ツールの利用者数 ・デジタルスタンプラリー参加者数(2,000人) ・観光循環バス1日乗車券の提供数(800人) ・協賛店利用者数(200人)	3,000人	3,803人 ・デジタルスタンプラリー 3,214人 ・観光循環バス1日乗車券 320人 ・協賛店利用 300人	佐渡連携誘客事業	△	スタンプラリー参加者数は民間事業者と連携し、スタンプラリーなど、世界遺産「佐渡島の金山」やアニメキャラクターの知名度を活用したプロモーションを行うことで、新潟・佐渡エリアへのさらなる誘客と周遊につなげます。	民間事業者と連携し、スタンプラリーなど、世界遺産「佐渡島の金山」やアニメキャラクターの知名度を活用したプロモーションを行うことで、新潟・佐渡エリアへのさらなる誘客と周遊につなげます。
			コンベンション件数	250件	206件 (見本市・展示会を含まない)	MICE誘致推進		開催件数は昨年度の199件を上回りましたが、全体として目標に達しませんでした。学会については、オンライン開催も増えていることが理由の一つと考えられます。	
2	食と酒、みなとまち文化、各区の地域資源、古町芸妓、マンガ・アニメ、スポーツなど、新潟市の個性・魅力を最大限に活用し、誘客を促進するとともに、来訪者の満足度向上、リピート・消費意欲の向上につなげます。	政策10-1-②	新潟ラーメンを県外向けにPRするイベント等へ参加回数	10回以上	14回	食をツールとした誘客推進事業	○	民間事業者とのプロモーションのほか、広域連携によるイベント出展時や新潟空港のプロモーションなどの機会を活用して新潟ラーメンのPRを実施したこと、目標を達成しました。	引き続き民間事業者と協力したプロモーションを行うほか、他都市連携や空港プロモーションなどの機会を造ることなく、新潟ラーメンや清酒などを含む新潟の食の魅力を県内外に発信していく中で、新潟ラーメンの知名度向上を図っていきます。
3	航空路線の充実、外国人誘客、クルーズ船の誘致を進めます。	政策10-1-②	外国人延べ宿泊者数	86,000人	115,848人	外国人誘客促進事業	○	積極的な誘客活動に努めたほか、訪日外国人の増加傾向と相まって、コロナ禍前の年間最高値である総合計画の中間目標値(令和8年)を超え、令和6年をさらに上回る形で、目標を達成できました。	最終目標(令和12年)に向けて、新潟空港国際線を運航する航空事業者等との連携を強化し、情報発信などに取り組むほか、新たに「食体験」をテーマとしたツアー造成に取り組むなど、新規顧客開拓を図っていきます。
			翌々年度のクルーズ船寄港予定回数	13回	27回	クルーズ船誘致推進事業		クルーズ船は誘致活動から寄港実現までに2～3年を要するため、関係団体と連携し、寄港時の受け入れや国内外へのセールス活動を確実にし、信頼関係の持続・強化を図ってきました。この結果、翌々年度の寄港回数は27回予定となり、目標を達成することができました。	
4	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備やテレワークの導入を進めます。	行財1-4-②	年次有給休暇の取得日数の向上	15.0日	16.5日	年次有給休暇の積極的な取得	○	有給休暇の積極的な取得を呼びかけたことで、目標達成できました。また、テレワークや有給休暇を取得しやすい環境もつくられています。	引き続き、有給休暇の積極的な取得やテレワークの実施についての呼びかけ等を行っています。

組織目標管理シート

年度	令和7年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・新潟市は暮らしやすいまちだと思ふ外国籍市民の割合 ・新潟市は国際的なまちだと思ふ市民の割合	作成日	R7.4.30
組織名(部)	観光・国際交流部	組織名 (準部・課・機関名)	国際課		評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要		
1	日本人も外国人も様々な国の文化に触れられ、相互理解を深められる取り組みを推進します。	政策1-4-①	多文化共生・国際理解促進事業の参加者数	5,000人	3,427人	多文化共生のまちづくり	「新潟市多文化共生基本方針」に基づき「新潟市多文化共生推進アクションプラン」を策定します。また、多言語で情報発信、やさしい日本語の普及、市民・企業向けの啓発などを行い、外国人との共生社会の推進に取り組みます。総領事館と連携し、ハンガウイまつりや春節祭などを通じ市民の文化理解の促進を図ります。	×	多文化共生・国際理解促進事業の参加者について、目標5,000人に対し、春節祭が中止となったため3,427人となり、目標を下回った。 新潟市外国人との共生社会推進本部を核として、全庁的な連携と情報共有を図り、多文化共生を推進する。また、総領事館と連携した各種イベントを通じ、市民の国際交流・文化理解の促進を図る。
2	姉妹・友好都市、交流協定都市をはじめ、世界各都市と自治体交流を進めます。	政策10-2-①	姉妹・友好都市、交流協定都市との交流事業参加者数	1,400人	1,051人	姉妹・友好都市などとの交流の推進	姉妹・友好都市、交流協定都市との交流を引き続き推進し、市民同士の草の根交流を図るとともに、国際都市としての発展とシビックプライドの醸成を図ります。	△	周年事業以外での姉妹・友好都市との交流や、市民の国際交流・文化理解の促進を図る。
			国際交流員派遣延べ人数	25人	38人	国際交流員派遣事業	市や新潟市国際交流協会が主催する国際交流関係事業や学校・公民館など地域団体が主催する交流活動に対して、国際交流員(CIR)を派遣し、異文化理解の促進を図ります。		引き続き、国際交流員を活用した国際理解の促進を図る。
3	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備やテレワークの導入などを進めます。	行財1-4-②	年次有給休暇取得日数	14.0日	16.0日	年次有給休暇の取得日数の向上	ワークライフバランスを推進するため、有給休暇の取得について、積極的に呼びかけを行い、職員の健康管理に努めます。	○	年次有給休暇取得日数について、ノー残業デーの実施や年休の計画的取得などワークライフバランスを推進し、目標14日に対し、16日となり、目標を達成することができた。 引き続き、課内会議を通じ、ノー残業デーの実施や年休の計画的取得などワークライフバランスの推進を図る。